



# 機関紙「れんごう中越地協」が900号達成

## 創刊から休刊なく連合と組合員をつなぐ

日頃より連合中越地協に結集する組合員の皆様、各構成組織・産別・単組の皆様、大変お世話になっております。機関紙「れんごう中越地協」は1991年1月1日創刊号発刊より、本年7月21日号で発刊から900号を数えることとなりました。

スタート時は月1回の発行でしたが、同年8月15日号から月2回となり、翌年3月には定期刊行物・第三種郵便物認可を取得し、公募により現在の名称となりました。同時に月3回発行の今の形態となったものです。以来、第900号まで一度の休刊もなく定期発行が継続されてきました。連合中越地協、応援して頂いてきた多くの方々とともに、この快挙・偉業を素直に喜び合いたいと存じます。

「東蔵王2」コラムや、ボランティア活動への呼びかけ号外、環境への取組み、労働協業としてのライフサポート事業やフードドライブのPRなど、縦横無尽に連合中越地協の活動の血液の役割を果たしてきました。

さて、失われた20年、私達働く仲間の雇用形態、職場環境、労働環境の変化は、経済・政治の面においても大きく変化をし、避けて通れないグローバル化の影響で社会は激変しました。連合が目指す「働くことを軸とする安心社会」とは、「働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれていく活力あふれる参加型の社会」です。しかし、非正規労働で働く人が四割、子供の6人に1人が貧困、独り身の高齢女性の2人に1人が貧困。これが今の

日本の現実です。「働くこと」によって経済的に自立し、税金や社会保険料を納め、社会を支えていくという循環がまだまだ正常でないことにもっと国民は怒りを持つべきです。更に、自公政権ではアベノミクスの成長戦略として真逆の、規制緩和と毒薬で企業の競争力を仰ぐ行為に及ぼうとしています。市場原理に基づく競争をとおる手法です。結果として勝ち組負け組の構図に拍車がかかり、格差が助長されかねません。先の国会では審議されませんでした。見直しや高度プロフェッショナル制度と呼ばれる「成果型労働制」の創設により、過重労働を助長しかねないものや、雇用制度改革の方針では、「解雇の金銭解決制度」の法案が用意されています。このような労働者保護ルールの改悪の動きに対しては、断固反対の立場であり、なんとしても阻止しなければなりません。連合中越が総会で確認したスローガン「ストップ・ザ・格差社

会！」「全ての働く者を連合の輪へ・安心社会を切り拓こう！」の実現に向け、今こそ連合の社会的役割を再認識し、大胆に地域に顔の見える活動を展開してまいります。最後に、機関紙「れんごう中越地協」は今後も創意・工夫・精進を積んで、読まれる機会、役立つ機関紙作



第900号2016.7.21  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定価 1部10円  
購読料は会費に含む



みなさんご存知のとおり、比例区では過去最多となる12名の連合推薦を受けた参議院議員選挙が終了しました。もちろん結果は大切で、結果が全てという方もいるが私たち組合役員はしっかりと今回の選挙の総括を行い、次の選挙に備えなければなりません。今回、18歳以上に引き下げられての初めての国政選挙となることから、私たち産別単組は新入組合員に対しての対応を迫られた。住民票を移してから三ヶ月経過してない新入組合員が多い中で、投票にたどりつくまでの手続きが必要となった。初め

次に審議予定事項として、9月期までの地協委員会や幹事会等機関会議日程、2016年10月1日(水)にいがたワーク&ライフフォーラム日程、第3回支部代表者会議日程などを確認した。また、17年度長岡市への要望に向けた単組産別からのアンケートを求めていること、平和関係事業の「平和の森コンサート(7月31日)」、8月1日に開催される「平和像への献花」長岡市平和祈念式典」などがおこなわれる。

副議長  
**松野憲一郎**  
《No.218》  
このケースで組合役員にとっても良い経験となったのではないだろうか。これからは若年層をはじめとする組合員を育て、参加できる環境づくりをしなくてはならないと感じている。先輩と一緒にやっていくこと、また、様々な問題をみんなで解決し、機会を捉えて横の繋がりと組織の団結を強める活動を行いたい。最後に、この参議院議員選挙で当選した組織内議員は選挙期間中だけではなく、常に見える活動をしていただき、組合員の心を掴み逃さないでいただきたい。

連合中越地協第8回幹事会が開く  
連合中越地協第8回幹事会が、7月7日(木)午後6時30分から長岡市勤労会館で開かれた。  
矢島議長はあいさつで参議院選挙に触れ、「推薦候補、組織内候補への支援に力を尽くそう」と述べたほか、7月下旬から8月期の各平和関連事業について「あらためて平和に対する考えを再確認したい」と述べた。  
先ず報告事項として、第78回地協委員会(6月17日)以降の活動が報告承認された。

連合新潟第58回地協委員会が、7月13日(水)午後新潟駅前ガレソンホールで開催された。  
開催にあたり齋藤会長は挨拶で「参議院選挙」、「16春季生活闘争」、「組織拡大等の課題推進」について述べた。また、選挙区で激戦を制した森ゆうこ氏が訪れ、支援への感謝と今後の抱負が述べられた。  
委員会では、先の方委員会以降の活動報告、上期財政報告等を承認し、16年度後半の活動等を決定した。

このほか、S Jネット委員会スポーツ交流会(7月29日)、各支部における平和集会や関連事業を決定した。  
連合新潟第58回地協委員会  
年度後半の活動決定  
連合中越のホームページは <http://tyuuetu.net/> 連合中越のメールアドレスは [rengo.c@topaz.ocn.ne.jp](mailto:rengo.c@topaz.ocn.ne.jp)



# 平成28年度 長岡空襲殉難者遺影展 住宅焼失地図展

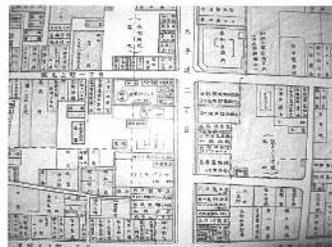
7月3日(日)~8月31日(水)

午前10時~午後4時 長岡戦災資料館 3階学習室



ご家族から提供された342名の遺影を展示します。

戦災前の校区別住宅地図をもとに、空襲による焼失状況などを色分けによって区別した「住宅焼失地図」を展示します。



お問い合わせ

長岡戦災資料館

〒940-0061 長岡市城内町2-6-17  
TEL 0258-36-3269  
FAX 0258-36-3335

# ながおか 平和フォーラム

第一部 記念講演会  
『戦場カメラマンが見た世界』

講師：渡部 陽一さん  
(戦場カメラマン・ジャーナリスト)



第二部 高校生による平和関連活動発表  
『平和を願う私たちの取組み』

発表者：第18代「高校生平和大使」  
鈴木 憂奈さん (中越高校)  
27年度長岡ホノルル平和交流事業参加者  
久川 涼佑さん (長岡高校)

第三部 鎮魂の演奏  
弦楽四重奏

出演：アンサンブルオビリー  
(佐々木将公さん、阿部智子さん、加野晶子さん、片野大輔さん)



8月1日(月) 14:00~16:00

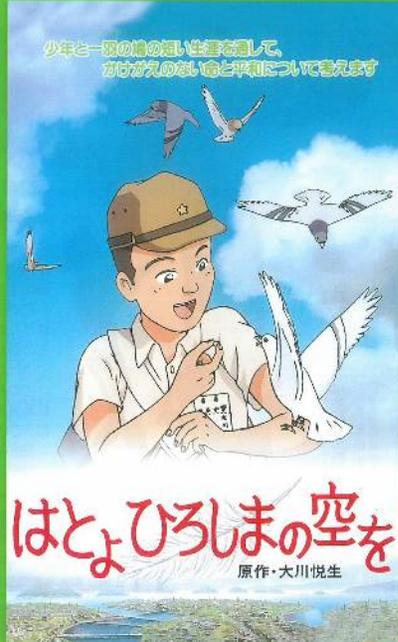
アオーレ長岡 アリーナ 定員：700名(先着)  
＜申込方法＞

7月4日(月)より受付を開始します。  
住所、氏名、電話番号、参加人数を明記のうえ、ハガキまたは電話・FAXでお申込みください。  
〒940-8501 (住所記入不要)  
ながおか平和フォーラム実行委員会事務局 (長岡市 庶務課) 宛  
電話：39-2203 FAX：39-2275

参加無料



1944年の夏、日本は太平洋戦争の真只中、戦況は悪くなるばかり、食糧も不足していました。まだ2歳にならないゆみ子のお父さんは、身体が弱く兵隊にも行けず、工場で働いています。しかし、ついにゆみ子の父にも赤紙(召集令状)が来て、戦争に行かなければならなくなりました。ゆみ子は、そしてゆみ子の両親は、太平洋戦争の現実と平和と生命の尊さを描き上げた作品です。



少年と一羽の鳩の運命を辿り、かわが丸の命を平和について考えます  
一九四五年八月一日、長岡に投下された原子爆弾の被害は、いたはけな二ハ〇余のいのちを奪った。その空を飛んでいった平和の道は、一寸しに平和をまもり戦争を終わらせることだ。

しみん えいが つど  
**市民におくる映画の集い**  
2016年 8月1日(月) 午前10時15分~11時15分 (10時開場)  
アオーレ長岡 交流ホールA  
主催/新潟県教職員組合 後援/長岡市  
**入場無料**

## へいわ まも 平和を守ろう

昭和20年8月1日は長岡大空襲の日です

### 真夜中の空襲・市街地の八割は火の海

1945年(昭和20年)8月1日午後10時すぎ、アメリカの爆撃機B29約50機(アメリカの資料では126機)が長岡上空に現れ、雨のように焼夷弾を落としました。  
この空襲により全人口の73%に当たる63,160人が焼け出されました。焼け死した家は11,986戸にのぼりました。また、この空襲によって1,480余名の尊い命が奪われました。その中に300名ほどの子どもたちが含まれていたのです。  
このようなまわしい戦争が二度と起らないようにとの願いをこめて、新潟県教職員組合は1951年(昭和26年)を設立し、8月1日に平和祈願祭を行ってきました。  
1984年長岡市は「非核平和都市宣言」を行いました。  
1986年からは「非核平和都市宣言市長の集い」を行っています。

平和祈願祭 ~非核・平和を誓い集い~  
8月1日(月) 午前8時~ 平和の森公園  
主催/新潟県教職員組合 共催/長岡市・長岡市議会

長岡市平和祈念式典  
8月1日(月) 午前9時~ アオーレ長岡  
主催/長岡市 共催/新潟県教職員組合

平和教育資料  
長岡大空襲の体験記  
八月一日夜の、大空襲のようすについての体験を、当時の小学生は作文を交えて語っています。

空しゅう  
「空しゅう」は、空襲の体験を語り、平和を願うという思いを込めて、当時の小学生が書いた作文集です。この本は、長岡市平和教育資料館で公開されています。